

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和元年度事業 点検・評価調書

5-II-7

5-II-7

章	世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	地場産業の活性化
	節	I 佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	7 佐渡産ブランド品開発	事業主体		佐渡連合商工会
		関連団体		佐渡市地域振興課
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】 ○特産品の開発等により、佐渡産ブランドの価値の向上を図る。			
	【事業内容】 ○特産品の開発や既存商品のブラッシュアップに向けて、関係機関が連携して佐渡金銀山ブランドイメージを活用した戦略的な検討を進める。			
R元 事業計画と実績	【元年度計画】 ●過去の開発商品のブラッシュアップと新商品の開発による販路開拓に向けた取組を進め、ブランドイメージの確立を目指す。 ●首都圏佐渡物産展の定期開催とフードメッセinにいがたへの出店による支援事業を実施する。 ●商品開発セミナー及び販路開拓バイヤーセミナーを各1回開催する。			
	【元年度実績】 ●ニッポン全国物産展(池袋サンシャインシティ)に出展し、地域資源の販路拡大の取組を行った。 ●首都圏佐渡物産展(表参道新潟館ネスパス)の定期会開催をはじめ、フードメッセinにいがた(朱鷺メッセ)に出展し、商談会の開催や販路拡大等の支援事業を実施した。 ●佐渡圏域を一元化した事業者支援体制を確立するため、新たな事業者支援計画の策定を行い、経済産業省の認定を受けた。			
課題・今後の取組	【課題】 ■既存商品のブラッシュアップに加え、関係機関との情報共有を図りながら、新商品開発を含めた戦略的な販路開拓を進め、佐渡金銀山のブランドがイメージできる支援体制を強化する必要がある。 ■佐渡金銀山ブランドイメージの活用をきっかけとした事業者自身の意識の盛り上がりと販路拡大に向けた販売意欲の向上を図る必要がある。			
	【今後の取組】 ■新たな事業者支援計画(経済産業省認定)により、佐渡圏域を一元化した事業者支援体制を推し進め、島外への販路及び需要開拓を促進するとともに、観光産業からの売り上げを増加するための支援を行うなど、戦略的な販路開拓事業を展開する。 ■佐渡全域を一本化した物産展の定期開催と販路開拓や新たな商品開発に向けたセミナーの開催等、支援の強化を図る。			
事業評価	【事業の達成度】 [ a ● b ● c ]		◇販路拡大に向けた事業に重点を置き、フードメッセinにいがたで商談会事業を行い一定の成果はあったが、商品開発セミナーの開催までには至らなかった。	
	【事業実施の効果】 [ a ● b ● c ]		◇首都圏佐渡物産展(表参道新潟館ネスパス)では、これまでの会場(日本橋ブリッジにいがた)を変更しての開催だったが、一定程度の販売ができ、「佐渡産品」のPRにつながった。	
	【総合評価】 [ A ● B ● C ]		◇世界遺産登録を見据え、佐渡圏域を一元化した事業者支援体制を推進するための計画を策定し経済産業省の認定を受けた。	

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。